

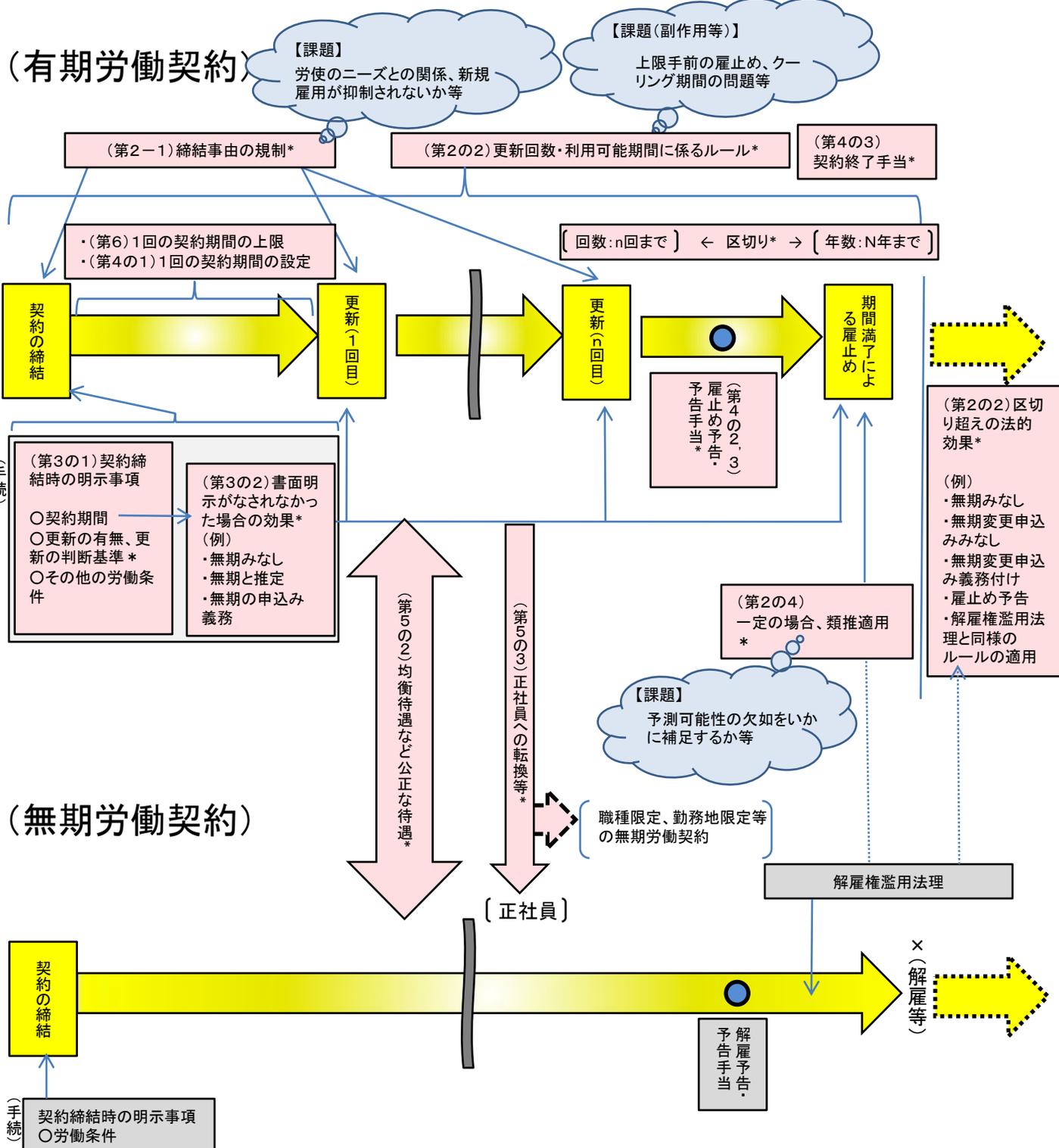
有期労働契約に関する各論点について

(資料4)

(第1) 現状と課題

- ・有期契約労働者は労使の多様なニーズにより増加、多様な集団に
(自らの都合に合った働き方である場合、正社員としての職を得られずやむを得ず就いた場合、継続雇用される実態等)
- ・雇用の不安定さ、待遇等の格差、職業能力形成が不十分等の課題

→ このように、正社員との格差が顕著な有期契約労働者について、雇用の安定、公正な待遇等を確保するため、有期労働契約のルールの中在り方を検討し、方向性を示すことが課題



(注1) 有期労働契約研究会中間とりまとめ(平成22年3月17日公表)の内容を整理したもの。「第〇の〇」は対応する中間取りまとめの項目

(注2) *は現行法上ないルール